(十三日夕刊)

磐城新聞

休刊 大祭第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢
廣告料 一行五十錢(指定廿錢增)
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社

磐中時代の回顧(六)

齋藤昌武作

先生は愛兒をそばに親切に土に座る生徒に前の樣なことを云つて「みんな風をひくから歸つてくれいずれ返事はする」こう云つただけだつた一同は又やむなく公園にもどり代表を校長のところに送ることにしたそれはうすくらく、はださむい冬期の頃だつた

　赤井嶽に校長を訪ぬ

　そして自分等は磐城の靈山赤井嶽に滑川先生を訪ね意を通ずることになつた、寒い風がふきはらがへつてゐる夕方の六時頃自分等はもう何時かさはぐことより本氣になつてゐた……友人から夜具をかり、夕めしをすまし代表十八人はその山をさしてゆくべく平郡線の汽車にゆられしばし山麓の村に着し、ともしびたより山路をのぼり初めた寒中とて白衣姿のこの寺の山僧ゆく姿も當時の自分等にはすごく見いた、夜半十一時やつと頂上に達し寢入る滑川先生を起し、色々と語らうたが話の終結は前と同じかつた……「注意して下山せよ」この一語によつて一行はその目的を達し得ぬ勿論そうだとは思つてゐたが……かなしく暗夜の山道を下り初めた、フクロ鳴き山下の家も暗く電柱の光が僅に、てつてゐたそして十八人は一時頃山下村に歸り疲勞と寒さとをいやすべく先輩のいる某小學校の宿直に一夜をあかしたのだつた……そして明方ただやかに歸平して學校に出た……その少細は當時朝日の磐城版を賑したからこゝに約す、かくて自分等はこの最も意氣深き五年を過やうとする直前、まだ親の如き滑川先生に逝去されたのだつた、臺灣視察の歸りにその視察談も聞かれず先生とわかれねばならなかつた、然し先生と語らつた赤井の山の一夜その數訓、顏光は今尚自分等の前途をはげましてゐる……無鐵砲と腕白の中學生活にも修養され得る機會が幾多あつた、その少細は記憶にない、唯ありふれた自分の五年間を今思へだして、惡意なかつた中學生の心理を赤裸々に告白しよう、これが先生へ先輩への自分の感想である、そして自分はそれらのことを色々に考へては早稻田の學園でより以上中學時代の比較的腕白さと不眞面目さをつぐけゆんとしてゐる、これが大体自分の中學生時代だつた(完)

（泉の實家にて四月九日）

明日の吉凶

舊暦三月五日　新暦四月十四日

▲一白 兎角鋒先の鈍り易き日萬事終りを注意すべし▲二黑 愼み足らざる時は口舌病難を來すことあり▲三碧 進む事のみに氣を奪はるゝ時は先敗すべし▲四綠 事半ばにして緩みを生じ易し目上に問ふて吉▲五黄 殺氣立ちて事を誤り易き日飲食にも注意▲六白 急功を求めず漸進主義を採るが安全なる日▲七赤 多少の苦は免れされども大体成功の日なり▲八白 他人の世話事に手を燒くことあり控目安全▲九紫 除々吉に向つて進み行く日但し投機業には凶

實感耐句稿

「山燒」小川郷　松本校甫

野火を守る人等の手に手に青松葉

土手傳ひに野火曳く子等や黄昏るゝ

よべからの空の曇りや山燒く日

同

山崎清風

野火の焔迫るかに見ゆ山の家

同

小座頭の燒野を行くや探り足

野火煙けはやとばかり脱兎哉

同

吉岡獨歩

雲か否霞かあらず野火煙

燒野跡楪の根株煙ばりぬ

土手燒くや火弄りに光る親爺の眼

同

若松超室

雨とならん夜風の和ごみ山燒くる

山燒の挨水飲む登餉哉

子等集ひ野燒くるまゝに黄昏るゝ

讀者欄

學校卒業生に

加藤まさ

わが國では學校を卒業するといふことは、勉學の機關から別れて實社會に入ることの樣に一般から考へられてゐます。

　女はことに僅に八年なり十年なりの學校教育を終へにあとは研究讀書の生活からすぽりと離れて煩はしい家庭雜務に追ひつかはれてしまひ易いものでありますが、これ位教育とか、勉學に對する根本的な違ひはないといはねばなりません。

　殊に、從來のやうに學校の教育が實生活とは非常にかけ離れてゐる限り、各人がその心掛一つで實際生活の上に立つて自分自身で教育の再咀嚼をする覺悟でかゝつてゆかなくてはならない筈です。デンマークの更生は實に國民高等學校の普及に初まると聞いてゐます

　現在のやうに地方に留まつて勉學をつゞけらその機關がないために、勢ひ、金子のあるものは勿論、金子を持たないものも意氣盛んなる若い人たちは郷里を離れて都會に集注してしまひます。

　而も都會は汗を流さずして金子と榮譽にありつかうとする似非インテリゲンヂャばかりを製造しすでにそのために行詰りつゝあるではありませんか、大學生一人あたりに一、三〇〇圓の國費を支出してなほ惜しとしない文部省が、大學へゆけない。

　高等學校へもゆけない大多數の娘たちのためには何ら心を用ひてゐないのです　そしてたまく行ふとすれば思想善導の名で女性の反動化、軍國主義訓練を企ててほんとうの女性らしさを双葉の内から摘みとつてしまふのです結局私たち婦人が協力して、自分たちの力で求めるものを實現するより外ありません。

講談　幕末[illegible]

(207)　渡邊默禪作　宮野歌春畫

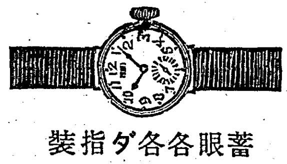
雪江は如何になりつゝありや、これが人々の最も懸念したところであつた、土藏に踏み込んで見ると板間にころがつたまゝ殆ど昏睡の狀態に陷つて片息になつてゐたが、一同力を盡して介抱した甲斐があつて次第に氣力を恢復し翌朝は大儀ながらも口をきける樣になつた、近江屋吉右エ門は雪江の代りに富藏とお萬をを土藏に押し込めた、因果應報、罪なき人を苦しめた其の如くに我も同じ方法で苦しめられるのだとは、思はぬ二人が狂人の樣になつて罵り騷いたが柱へ後手に縛りつけられたので、戶口へ立ち寄ることも出來なかつた。

　即夜使をとばして市中の親族を召集した、大事件と聞いて翌日早朝から駕で驅けつけたものが七八名越前屋だけは特に知らしてやつたのであるが流石に薄氣味惡く思つてかよりつかなかつた。

　顏の揃つたところで吉右工門から委細を話して一々證據を擧げ如何に二人を處分すべきかに就いて其の意見を聞くと何れもうすく此の內情を承知してゐたので手を打つて喜び祝した。たちにその筋へ突き出して嚴重な制裁を受けさせたがよからうといふ說か多數、既にそう決する計りになつた矢先へ、雪江から嘆願が出た、

　それは實に一同を泣かせる程、優しい潔い哀れな辭である――私は成程二人にいかめられました、九死一生になるまでいかめ立てられました、怨もうと思へば怨むことも出來ます、怨んでその仇を報ひるのが世間の常で御座いませう、併し私は血で血洗ひ、齒で齒を嚙む樣な仕打ちを二人に加へることは好みません、恩を以てその仇に酬ひ德を以つてその敵に克つ樣にいたしとう御座います、たとへ惡人とは申せ、かりそめにも母として仕へた人、また一人は亡父樣御存生中子飼ひの時からともかくも藤屋のために働いて呉れた番頭の骨折りを無にして二人を共繩付きにすると云ふことは、どうしても忍びないことでありまず、就きましてはどうぞ二人の罪を水に流して穩便のお取計らひ、母はこのまゝ離緣、富藏は永のいとまに今後一切關係がないと言ふことにして此の家を追ひ出して下さいまする樣に――と衰弱した体を人にたすけられ、一同の前へ出てけつそりと肉の落ちたやつれ顏に、ほろくと淚を流しての願だつた、吉右工門はその心のびん然さにはなを啜上げながらも何とも言ふことが出來ずして默つて控へてゐた、獨りこれが反對したのは兄の勘太郎でそんなお人好しの泥坊にあるか、と消しつけた、と梶原はそれをさへぎつて「近頃殊勝な御心掛け、實に感心しました人はそうでなくてはならぬ、佛の慈悲神の惠みと云ふこともある情けある取計ひこそ御當家の光になるであらう」と云ひ出した見ると鬼の眼に淚を宿してゐる、鶴の一聲、忽ち滿場の賛成を得て議は忽ちそれに決した。

優秀なる最新型腕卷時計



蓄音器　眼鏡　各種レンズ　各國時計　ダイヤ　指輪　裝身具

鐵道省御用　クジヤク印蓄針特約店

金光堂時計店　平町五丁目　電話三三六番

貴金屬御注文製作品早く良奉仕的特價に致します

平町紺屋町　藤沼醫院　電話五〇七番

平町田町　高久病院　電話五一三番

貸切自動車の御用命は　高級車で乘心地の好い　昭和タクシーへ

平驛前　昭和タクシー　電話は三四三番　サシミ

改正　片濱乘合自動車時間表

平發	江名發
五時三十分	五時三十分
六時三十分	七時
八時	七時五十分
九時	九時二十分
十時	十時三十分
十一時	十一時五分
十二時五分	一時
一時五十分	二時
三時	三時三十分
四時	四時四十分
五時二十分	五時四十分
六時三十分	六時四十分

平のりば　四丁目和泉屋前　新川町車庫

江名のりば　沖見屋　電話十四番　松屋

鈴木片濱自動車部　電話二一七　車庫呼出電話一四二

電燈より接續してすぐ寫る　家庭活動寫眞

パテーベビー活動寫眞機

映寫器　八〇、〇〇

撮影器　六五、〇〇

フヒルム　一本　二、五〇

生フヒルム　一本　一、〇〇

市内はお伺ひして御覽に供します　御申越次第カタローク進呈

パテーベビー社代理店　平町二丁目　西村屋藥舖　電話三番

磐城自動車學校ノ創立

青年諸君我等ハ我等ノ心身ニシツカリ合ツタ職業ヲ撰ビ其ノ職業ニ依リテ運命ヲ開拓スベキデアル近時文明ノ第一戰ニ立ツ交通ノ利器自動車ノ運轉手位面白ク愉快ニ紳士的職業トシテ前途洋々タルモノハ有ルマイ、現今運轉手ノ增加ハ自動車ノ增加ニ伴ハザル現狀ニアリ既ニ運轉手トナラン力年少氣鋭ノ若者ニシテ既ニ相當ノ收入ヲ得テ且ツ失業ノ憂ナク引張リ凧ノ有樣斯クテ殊ニ優秀者ニ至リテハ各雇主ノ大歡迎ヲ受ケツ、アル新時代ニ急先鋒トシテ活氣ニ充タサレテ生々ト働ク亦男子ノ快事ニアラズヤ然ルニ現時之等希望者ニ對シ之ガ操縱法及學術技能ヲ修得スルニ多額ノ費用ヲ要スルハ遺憾ナリ我磐城自動車學校ハ最低廉ナル費用ヲ以テ其目的ヲ達セシメ尤モ完備セル設備ト老練ナル教師ヲ聘シ時代ノ新要求ヲ達成センガ爲創立シタル次第ナリ來リテ見ヨ而シテ諸君ノ最善ヲ發起シ諸君ノ運命ヲ開拓セラレン事ヲ

▲本校ノ内容（學則希望者ハ申込次第送附ス）

受驗科　一ケ月卒業　學術技能ノ經驗アル者
授業料（學科實習費共）一ケ月金參拾五圓　T型フォード　新フォード　シボレー

速成科　二ケ月卒業　初心者ニシテ速成ヲ望マル、者
授業料（學科及實習費共）一ケ月金參拾圓　T型フォード　新フォード　シボレー

本科　三ケ月卒業　初心者
授業料（學科實習費共）一ケ月金貳拾五圓　T型フォード　新フォード　シボレー
但シ授業料ハ各科共前納ノ事

入學資格尋常小學校卒業者及ビ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

▲本校練習用自動車ハ▲廿七年式フォード▲シボレー▲新フォード
▲本校ニハ通學ノ出來ヌ生徒ノ爲ニ寄宿舍ノ設備アリ月額約十八圓デス

新學期開始　昭和四年五月一日

公認　磐城自動車學校

四月一杯ハ　平町二丁目尼子自動車部　電話六四〇番ニテ取扱フ

平町紺屋町　吉田眼科醫院

内臓　外科一般　外科　花柳病科

入院隨意　自炊の便あり

平町田町大通り　安齋外科醫院　電話四三六番

外科　婦人科　内科　X光線科

外科一般　耳鼻科　花柳科　產科　婦人外科

赤心堂病院　平町田町(電四七五)

貸地廣告

平町郡役所より稅務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり葉けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社　平出張所　電話六〇三番　五四一番

内臓外科　骨關節外科　專門　藤本順

整形外科　產婦人科　院長　木村寅次郎

外科　婦人科　平町新川町　木村醫院　電話一六四番

營業種目

內地材　材木各種、羽柄材各種　建築諸材請負　礦山用坑木其他諸材請負

外材部　米松、米杉、大角製材調達請負　其他

佐藤材木店　常磐線平町新川町　電話三三五番

特賣!!

たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領

花春　同優等賞受領

醬油釀造元　鹽屋　山崎合名會社　電話一〇番

咲いた松ケ岡の櫻
新川畔も三分の微笑み
七福會がけふ公園で花見の皮切り
賑ふ平町の花見

平町松ケ岡公園の櫻花は東北一の吹聽が眞に地元の誇張でなく花期に於て常磐線の車窓に映ずる滿山花に埋づまる艶麗から新川土手十餘町に霞棚引く見頃さは疾走に過ぐる寸觀の旅客さへ恍惚とさせてゐるがチラホラ笑ひ初めた數は來漸く遊山の人を呼んで園内は日一日と賑はつて來た東部電が殆ど奉仕的に花咲く樹間を飾る二千五百の廣告燈も今十三日夜から點火される事となり夜の眺めがまた一際の美を見せ今十三日平町七福會の觀櫻會を皮切りにぼつ／＼天下晴てのサンザめきを増してゐるが明十四日は助川から六百名の團体が繰り込み日曜なので雨さへ降らねば賑はひは大したものだらう

高橋氏が出頭せず 仲裁會見は延期
白井氏の權利は動かぬ
大敷網紛擾經過

小名濱町大敷網問題は既報の如く高橋氏側の横鎗りから問題益々紛糾をつゞけ形勢險惡の度を加へて來たので萬一非常事件の突發を見る如き事あつてはならぬと千葉平區才判長が今十三日午前十時より小名濱江名兩漁業組合並に高橋亘氏を才判所に會同を求め仲裁案を提示し種々折衝の筈であつたが高橋氏の出頭が無い爲め延期の止むなきに至つた因に高橋氏の主張する處は小名濱、江名兩組合が縣に對し大敷網漁業權出願の際許可の上は貸附すること、の內契約があつたのを其後縣より「本漁業は本縣人に限り經營せしむること」との依命通牒があつたので兩組合は白井氏に貸附契約をしたもので高橋氏の相手は兩漁業組合にあり今や貸附契約登記により確實に既得した第三者は白井氏の權利に對して高橋氏が爭ふべき筋合でないので今回の仲裁案も高橋氏と漁業組合の二者に止まつたものである

蠶業技術員
來る廿日に開會

石城郡蠶業技術員協會春季總會は來る二十日平町元石城郡役所會議室に於て開催する筈であるが從來の技術員協會は全く有名無實であつて殆ど蠶業協會としての仕事を行つて居らなかつたゝめ會員並にその他から非常に非難されるに至つたので來る二十日頃開かれる春季總會を期として新に規約の制定並に宣言決議を行つて內容の充實をはかり眞に蠶業家の味方となつて蠶業の發達に資することゝなつた

平穀檢支所 補償金交附
極めて正確

穀物檢査所平支所では、小作米等級檢査開始以來小作米の平均等級並にこれに對する地主の補償金額に就て大正十五年から昭和三年度まで三ケ年間にわたる狀況を調査した結果この三ケ年間に於て小作米の等級檢査を執行した總俵數は三萬二千九百九十俵これに對する地主が小作人の等級に依つて小作人に交附した補償金額は一萬三千六百五十一圓十八錢の多額に達して居るがその平均一俵に對する補償金額四十一錢四厘で縣內各郡の狀況に比べて地主の小作人に對する補償金交附の狀況は極めて正確となつてをりそれだけ補償金交附後における小作米は良好な成績を示して居る

平町議 噂に上る人々(六)
相當難産を豫想される
才槌小路と鍛治町の卷

才槌小路

才槌小路の現狀を見るゝ可成り混頓として容易に逆睹し得ない實狀である、即ち現町議吉田吾平氏は勿論本人には野心もあり今一期ぐらいやらして見たいと云ふ後援者も少くはないが人格的に批難の少ない氏は夫れたけ經濟的には至つて惠まれず所謂地獄の沙汰も金次第の世に處して猛烈な選擧戰線に立つと云ふことは相當苦心が伴ふので些さか尻込みの狀態にあるかの樣に見られてる折柄、氏の地盤に喰ひついて漁夫の利を占めんとする野心家は爪を磨いて虎視眈々たる有樣である、即ち少壯と熱辯を一枚看板とする綠川喜三郎氏が吉田氏の幾分の弱味を見込むで寧ろあるまいが最近宗趣を替へて民政黨に秋波を送り入黨書を出したが許されたとか許されぬとかの噂のある如く兎角綠川氏の町會改選を前の焦慮振りは寧ろ脱線的の滑稽を演じてゐる如くで吉田氏が果して綠川氏を抱擁し得るとすれば兎も角之れ無くしては綠川氏の野望も焦慮も到底吉田氏の爲めに一蹴されるであらうことを筆者は惧れるものである。一方阿部政右エ門氏であるが氏は先年五月の代議士選擧に際し木村清治氏の爲めに惜しくも選擧違反に問はれ町會議員の席半ばにして職を

辭し　お尊き犧牲者

〆して氏に酬ゆる德義からも又た人物的にも是非氏の如き有爲の材を措いて他に町議の資格者なしとする熱心な選擧民多數の聲があり阿部氏本人の意志如何に拘はらず結局無理押しに推されるものと觀るべきである而して一方千葉彦治氏を此の區から送り出さんとする聲も可成り濃厚で之れまた結局立つ事になるかも知れぬが千葉氏の地盤は才槌小路に限らず殆むど全町に亘つて根强いものがあるから阿部氏と同志討ちの醜体を演ずる如き事は絶對にあるまいとの觀測である

鍛治町

中野甲藏、吉田伴吉、吉田由三郎氏の如き老練な物もあり出るとなれば困難はないにしても此の面々は「今時町會でもあるまい」と超然主義を採つてゐる模樣で白羽の矢は少壯國府田直良氏に立つた模樣である國府田氏は町政に對する抱負も

見識

もあり有望視されてゐるが果して立候補を應諾するか否か未だ判然としない、ただ注目を惹いてゐるのは瀧澤俊平氏が中野甲藏氏の威勢を鍛治町に籍り盤越の繩張りを全町に求めて敢然出馬の決意をしたかの如き噂も根據ある方面より傳ひられてゐるが只今の處確實に判然しない

錦三に懲役
一年三月の言渡

平町胡摩澤馬場林鳥を去る二月廿七日午後八時ふろ平町白銀町カフエーステージに於て口論の末短刀を以て左腹部を突き重傷を負はした名古屋市中區生れ八上錦三(二九)に係る傷害事件の第二回公判は十三日午前十時から開廷千葉裁判長より懲役一ケ年三ケ月の判決を言渡された

乘降客共に減つた 閑散な平驛
珍らしく殖ゑた着荷
收入三十五萬圓

平驛昨年に於ける總乘車人員は百二十一萬一千八百五十人で前年より一萬九千四百九十五人の減となり降車は百十七萬八千五百五十三人で前年に比し同じく一萬五千九百八十七人の減を見これも半年統計から見てつたが收入も之れに比例して三十四萬三千三百圓九十六錢で前年より一千三百五十二圓六十二錢の減少であつたが貨物總額に於ては十萬四千六百四十二圓二十四錢で二千八百十七圓四十錢の增收であつた到着貨物は十九萬七千七噸あり前年より一萬四千七百六十二噸多く發送は六十二萬一千八百九十噸でこれも前年に比し五千九百八十三噸多く成績狀態に於て貨物の方は良好であつた

湊谷課長歸省

石城郡好間村古河炭礦經理係長湊谷定次郎氏は嚴父の法會を營むべく夫人同伴にて讃岐に歸省二十日歸山すると

戀を語る 闇に咲く花
花なればこそ平署に
賑ふ平の花柳界

惱ましの春ともなれば世相も移り變りたゞ一篇の人生哀史すらも何がなしエテツクな陰影を運んで來る、これをもつてすれば昨今平署の窓口に現れる夥しい藝妓營業願ひ、酌婦營業願ひも受難の道を歩む女性の悲哀として見るよりか、春―人の子の心は浮立つと見てその横から春の社會相として眺め渡すも興あることだ

その昔傾城に誠なしと卑下された廓勤の女性逢にも心の奥に誠が私み身は浮川竹と沈めども、傾城に純情の涙をしぼらせ情痴の世界に夕霧伊左衛門、揚卷助六の夢こまやかなる畫繪を繰ひろげた、情緒の纏綿たることチャズ狂時代の今日にたいては到底見ることは至きない、丈餘の長きにわたる卷紙に「そもさまの心のうちを計りかね……」と水莖の跡も涙にしめりがちな傾城が悲しきつとめに身をばやる裏面には親のため、兄弟のために幾多の悲話が織なされて巷間に美しい物語りとして傳へられて居たものである。

然し乍ら世は移り昭和の御代ともなればこれデンボの時代、昔語の悠長さは消ねて吸付烟草の戀を感じ、僅な代償に肉をひさぐといふ有樣殊に今日此頃のやうに花の季節ともなれば酒に正体を奪はれた男達の財布の底をはたかせやうと色の戀の沙汰を越へて金さへあれば旦那である。何せ今月中は藝妓屋、飲食店、料理屋の書き入れ時とあつて何れも濡れ手に粟とばかりに男をたぶらかすのは女に限るとあつて上玉の仕入れに急かしい、其處に誠はなくて金のゆわの餓鬼の世界だ。

かやうにして今月に入つてから營業許可の件を願ひ出でたものが藝妓七名、闇に咲く花の酌婦が十名、それに名稱が曖昧であるやうに又行動も曖昧な水仕と稱するものが十餘名、これでも口上りないと見えて續いて出願される模樣にある。これらの營業を許可された女達が惱ましい春の夜を泳ぎ廻るのだから遂にまた男性たるもの勢ひ自然の花と人の花とにチャズ的にならざるを得なくなるのだ。

籾種の浸種
期間は一週間位

石城郡地方に於ける稻の種蒔は五月下旬頃に行はれるので各農家では苗代の作りを開始したが郡農會では種蒔に際して種子を撰擇、同時に籾の浸種期間等について夫れ／＼注意をなした從來石城郡地方では十五日以上も籾を浸水していたのであるが浸水の期間は試驗研究の結果一週間位が適當なので郡農會では先づ浸水期間の改善を圖る由である

◁◁◁◁◁◁ヤツト通つた 自動車々体檢査
平、四倉で百八十臺
大半は古物揃ひ

平、四倉署管內に於ける自動車々体檢査は去る七日より平町郊外舊磐中グラウンドに於て執行され昨十二日終了したが檢査の成績と聞くと受驗車体百八十臺の大半は舊型フオードが多く新シボレー新フオードの如きは殆むと數ふに足らず總じて車体の老汚は勿論スピードメーター並にブレーキの不完全甚だしく再檢査を要したもの二三臺あり結局今回は廢車なしに無事終了したが來る十一月の定時檢査までには不合格の車が可成り出る見込であると

平消防觀櫻
二十日松ケ岡で

平消防組の觀櫻會は十八日平町松ケ岡公園で行ふ筈であるが當日午前七時から同町八幡小路廣場で來る二十日行はれる聯合消防檢閲の豫習をなし午後三時から觀

春の歡樂に
品質本位の
芳醇銘酒
白鶴
どうぞ御用命の程願上ます
辰ノ口本家
平窪 松本德一
電話(平)七五二番

江名學校問題が 解決の曙光
依托料を出すとして
上神白民も納得

石城郡江名町字神白部落小學校兒童約六十名は從來通學距離の關係から小名濱小學校に通學してゐたが本年新學期から江名町本校へ通學することに江名町々會で決定した處が同部落ではそれでは困ると云ふので小名濱町への合併を唱へ兒童の關係から小名濱町へ續々寄留して來るため江名町當局でも弱り種々協議の結果部落民の希望を入れ從來通り江名町から小名濱町へ依托料を出し通學せしむることに大体決定し近く神白部落へその旨通告をすることゝなつたので成行き注視されてゐた通學問題も漸く解決することになつた

石城第五方部 青年團總會
永戸小學校で

石城郡第五方部(永戸、三坂、澤渡、川前)青年團春季總集會は十二日午前九時から永戸村小學校內に開會し討議、打合せをなし終つて團員の五分間演說平商業學校長吉田利吉氏の講演があつて盛會裡に散會した

日立野球遠征

日立野球部對オール平第一回野球試合は明十四日正午より磐中校庭に於て擧行する

校長首席訓導

石城第一區植田方部校長及首席訓導協議會は十四日午前八時より植田小學校に開催四年度各種事業の計劃を附議する

礦長會議
出炭制限協議

常磐七大炭礦々長會議は十二日午後一時から開會終つて十時より湯本町松柏館に於て本月より九月までの出炭制限實施に就て各炭礦重役の協議があつた

校長異動
十一日に發表さる

本縣では十一日小學校長の移動を發表したが本郡關係の分左の如し

內郷校 依田市郎 田村郡守山校長
新山尋 渡邊壽雷 石城郡內郷校長
江名校 鈴木佐忠 雙葉郡新山校長
鹿島校 振旗彌 石城郡江名校長
勿來(尋)校 鵜浦盛喜 石城郡鹿島校長
戸田與助 石城郡勿來尋校長

坑內の犧牲
落盤で慘死す

石城郡磐崎村字一本木藤原炭礦運炭夫柏葉國照(四三)は十二日午後五時半頃同礦坑內で作業中落盤のため壓死したので十三日平署で檢死した

青年の溺死
小名濱に漂着

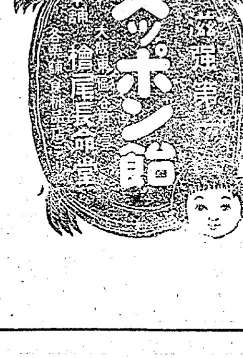
石城郡小名濱町字古港小名川の堤に一見勞働者風の年齡二十六七歲前後の男の死体があるのを十一日午前二時ごろ通行人が發見平署に屆出た平署から係官出張檢視をなしたが同人は精神病者で小名川に轉落溺死したらしいがなほ身許不明のため死体は町役場に引渡した

江戸前料理
花見折詰 廿錢より
スシ折詰 廿錢より
設備の完全と江戸前の職人を以て調理しお客様の滿足を得る樣努めます
▼ぜひ御利用下さい
平二 魚清
電話六三三番

お花見には
銘酒 [illegible] 瓶詰
△先約五千ケ限り
△花見手拭付二合瓶詰 盃付 三十錢
永山酒造店總發賣元
平町四丁目 電話二〇七番

安全第一
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモツトートスル弊店ヲ精ニ御利用ノダサイ
營業課目
勸業債券 復興債券 公債其他 兩替 金融
質物一般 取扱
多田井商店
平町大工町

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋 ㊇ 釜屋商店
諸橋久太郎
電話 九一番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は㊇の生命なり

美味にして滋強の効著大
血をふやし肉を肥やす


スッポン飴 一圓 三圓
スッポン酒 一圓 二圓
スッポンヘモクロピン錠 三圓
平町五丁目角
山野邊藥局